

資料 1

ヒアリングの流れ

ヒアリングの流れ

(令和4年度)

	進行
18:00～18:20 (20 分) 会場 研修・会議室 2	1 開会 (※委員全員) 事務局から本日の進行全般について説明 2 審議事項の審議 事務局からヒアリングの流れについて説明
18:20～18:35 (15 分)	- 各会場へ移動 (※委員が各グループに分かれます。) - グループ分けは資料 2 のとおり - 司会進行は各グループに配置した事務局 (市職員) が行います。 準備ができたならセンター職員及び運営協議会委員の自己紹介
18:35～18:50 (15 分)	◆ 共通質問に関するヒアリング ※ 資料 4 「令和 4 年度旭川市地域包括支援センター運營業務自己評価票」の 1 ページ目【令和 4 年度ヒアリング共通質問】における各センターの回答を、事前に確認しておいてください。共通質問に関するヒアリングは全てのグループで行います。 【令和 4 年度 ヒアリング共通質問】 自立支援の視点に基づき、介護予防ケアマネジメント (介護予防支援を含む) を実践し、要支援者の状態改善につなげているか。 【 取組方法 】 【 取組成果 】 ① センターで担当した利用者のうち、生活課題の解決につながった者の割合 (具体的な生活目標を設定し、当該目標を達成した者の割合) _____ % ② ①のうち、サービス利用を終了した者の割合 _____ % ③ 要介護状態の維持・改善につながった利用者の割合 要介護認定の更新を行った者のうち、 A 要介護度が軽度化した者の割合 _____ % B 要介護度を維持した者の割合 _____ % ※ すべて令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 11 月 30 日までの内容で記載してください。 ※ 参考 令和 4 年 4 月～9 月に認定の更新を行った要支援者の更新結果 (市内全域) 軽度化 5.6 % 維持 67.5 % ヒアリング共通質問に関する内容については、資料 4 のはじめに「ヒアリング共通質問について (補足説明)」を添付しておりますので、あわせて御参照ください。 ヒアリングの例 - A センターの取組についてもう少し詳しく教えてください。 - C センターが実施した～の取り組みは、生活課題の解決につながると思うので良い取り組みだと思う。 - B センターの軽度化が市内全域よりも高いですが、どのような要因が考えられますか

18:50～19:50

(60 分)

◆ 項目別評価に関するヒアリング

※ 資料4「令和4年度旭川市地域包括支援センター運營業務自己評価票」の項目別に5段階評価等が記載された内容を事前に確認しておいてください。

また、参考資料として、資料5「令和4年度地域包括支援センター業務実績（令和4年12月末現在）」、資料6「地域包括支援センター利用者アンケート調査結果」もあわせて確認にしておいてください。

「項目」

地域包括支援センター運営体制				
評価項目	評価基準	自己評価の視点	自己評価	
			今回	前回
(1) センターの職務及び職員の姿勢	職員がセンターは中立・公正でなければならないことを理解している。 職員は、「第8期旭川市高齢者保健福祉計	・職務における誠実な姿勢 ・公益性の視点 ・計画、方針、要綱、仕様書、		5

項目別評価のヒアリングは次の順番で行います。

1 各グループ2項目ずつ、ヒアリング必須項目（資料2参照）について、ヒアリングを行います。（1項目につき15分程度目安）

〔職務別・グループ内五十音順〕						
氏名	機関・団体等の名称	グループ	会場	担当包括	事務局	ヒアリング必須項目
小野 直子	旭川市老人福祉施設協議会	1	研修・会議室2	中央	松本部長	・第1号介護予防支援事業に係る業務（評価項目2） ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（評価項目6）
栗田 克実	特定非営利活動法人旭川NPOサポートセンター			豊岡	清原主査（司会）	
野坂 政由	旭川市民生委員児童委員連絡協議会			東旭川・千代田	高山（書記）	
橋本 和季	一般社団法人旭川市医師会			東光	草野	

「ヒアリング必須項目」

- 2 ヒアリング必須項目以外の項目についてヒアリングを行います。選択する項目もいくつ選択するかも自由です。（20分程度目安）
- 3 事務局及びセンターからの感想（10分程度目安）

ヒアリングの例

・A包括では、前回と比べて高齢者虐待への対応について自己評価が上がっているが、改善したポイントは何ですか。

⇒（回答を受けて）今後も取り組みを継続するとともに、～のような取り組みも検討してみてはどうか。

・B包括では、医療と介護の連携推進について自己評価が良くないようだが、どのような課題を認識しているか、また、私の所属するC団体にはどのような協力等を望んでいるか。

⇒（回答を受けて）それでは、～の様なときには協力できることがあると思うので、連絡をいただきたい。

19:50～20:00 (10 分) 会場 研修・会議室 2	◆ まとめ ・ 研修・会議室 2 へ全員が移動（※会議開始の際の位置に戻る） ・ 事務局から、今後の流れを説明（資料 3 参照） 意見書（資料 3_別紙） ⇒ 2 月 2 8 日（火）までに事務局に提出 ⇒ 事務局で総合評価案を作成 ⇒ 委員承諾を経て各センターに総合評価を配付 4 閉会
---	--

○ お知らせ

感染症対策により会議時間を短縮し、会議の効率化を図るため、ヒアリング後に実施する総合評価（案）の作成に向けた意見交換（総合評価意見交換）については、書面で実施いたします。

また、ヒアリング意見交換（センターが抱える課題に対する助言等）については、センターの質問等が多岐にわたるため、事務局で整理した後、令和 5 年度旭川市地域包括支援センター運営協議会や旭川市地域包括支援センター連絡会議などを通して、実施したいと考えております。